

佐野のクリケットカフェ 閉店前、高校生が協力 特別メニューでもてなす

クロッフルを作る佐野高1年生



【佐野】佐野駅前に期間限定で開設された交流拠点「クリケットカフェ」に、高校生による閉店特別メニューがお目見えした。13日は佐野高1年の4人が韓国発の次世代スイーツ「クロッフル」や「いちごあめ」を作り、観光客や乗降客をもてなした。

年藤倉望妃さん(16)ら4人がカフェに「ゴラボレーション」を申し出たという。

藤倉さんらは「いちごあめは去年はやり、クロッフルはこれからやるスイーツ。お菓子を通して、佐野がクリケットのまちであることをPRしたかった」と口をそろえ、相次ぐ注文に「ありがとうございます」と笑顔で応じていた。

同カフェは、クリケットを活用したまちづくりを進める市の新たな拠点として昨年7月にオープン。今月で閉店となるのを前に、「クリケットのまちづくり」を研究テーマに掲げる同校1

14日には、佐野松桜高の生徒も自らレシピを開発した大豆ミートの黒から揚げを販売する。(柴田正人)